

ハイライトよねやま 26

(財)ロータリー米山記念奨学会
2002年5月13日発行

1. 寄付金速報 ～普通寄付のお願い～

4月までの寄付金収入は15億円、前年同期比で約7千万円(4.5%)の減少。今年度も残りあと2ヵ月、厳しい状況ではあるがロータリアンの皆様の力を借りて、前年度並に維持することができるよう、さらなる協力をお願いしたい。4月末現在、普通寄付金の未納クラブは26地区64クラブ(納入済は9地区のみ)である。5月末は、普通寄付金未納クラブを「0」にすることを目標にしたい。(宮崎)

2. 在日留学生・有資格者数調査と望まれる地区内大学との接触

米山奨学会では、4月に全国687の大学および大学院、キャンパス別では786校舎を対象に「在日留学生・有資格者数調査」を開始した(新設大学17校を含む)。「どうすれば指定校になれるのか?」という大学側の関心からも積極的な協力が得られ、例年100%の回答率である。調査結果は5月末にまとめられ「①大学担当者・連絡先一覧表」、「②2003学年度地区別米山奨学生採用数算出」の資料作成に供され、6月中旬に各地区役員(2002-03ガバナー・理事・米山奨学委員長)に送付される。

今後は、地区選考委員が地区内大学担当者と接触を深めることも大切だ。少子化による大学の定員割れや国立大学の統合・改組など大学が抱える問題は多様だが、本質は「魅力ある大学づくり」にかかっている。単に定員割れをカバーするための留学生集めでないかなど、大学側の方針を見極めることも指定校選定には重要である。また、地区独自で推薦者選定の基準(応募資格に抵触しない範囲)を設定することも考えられる。例えば、地元の産業にかかわっている研究、エイズや癌研究にかかわる学生の推薦を依頼するなど、各地区で採用に特色をもたせることも可能である。各地区でのあらたな取り組みが期待される。(栗原)

3. 利尻ロータリー・クラブから初の米山功労者 ～ そのきっかけは?

北海道・利尻島にある利尻ロータリー・クラブから、初の米山功労者が出た。佐藤純夫氏(2001-02年度地区分区代理)と中瀬正氏(01-02年度利尻RC会長)の両会員だ。広大な第2500地区は、米山奨学生にふれる機会の少ない地区の一つである。佐藤氏の寄付のきっかけは、利尻島にキャンプに来た留学生との出会いだったという。「10年以上前のことですが、国を超えた交流の大切さを知りました。いつか形にしたいと思っていたので、分区代理になった記念とあわせて“米山”へ寄付しました。

米山奨学会では4月から6月までの3ヶ月間に功労者となったロータリアンに対し、寄付の動機をたずねるアンケートを行っている。結果は7月に発表の予定だ。(羽白・三宅)

(財)ロータリー米山記念奨学会 担当: ^{おおぼ}大庭・^{みやけ}三宅
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館ビル8階
Tel: 03-3434-8681 Fax: 03-3578-8281